

「長野県森林づくり県民税に関する基本方針（案）」に寄せられた 主なご意見・ご質問※

○ パブリックコメント

募集期間：令和4年9月22日（木）から10月21日（金）まで

募集結果：39名から意見が寄せられた。

○ 県民説明会（YouTubeからの視聴は最大視聴者数を計上（内数））

令和4年 10月 8日（土）13：00～14：30 県長野合同庁舎【参加者：約60名（YouTube約30名）】

10月11日（火）18：30～20：00 県松本合同庁舎【参加者：約100名（YouTube約30名）】

10月16日（日）13：00～14：30 佐久大学 【参加者：約70名（YouTube約20名）】

10月19日（水）18：30～20：00 県伊那合同庁舎【参加者：約80名（YouTube約40名）】

合 計：約310名（YouTube約120名）

※パブリックコメント及び県民説明会で寄せられた意見をまとめて記載

項 目	ご意見・ご質問のポイント
1 超過課税の理由	<p>①森林税はあくまで時限的な超過課税であることを踏まえた運用として欲しい。森林税による補助がなくなっても自立した取組が続く体制の整備を。</p> <p>②超過課税の必要性、一般財源で対応できない理由を丁寧に説明して欲しい。</p>
2 再造林の加速化	<p>①再造林の加速化は重要だが、実際の運用方法は。</p> <p>②10/10 補助の対象とならない森林において、再造林されないことを懸念。</p> <p>③造林制度自体が複雑。必要な書類を簡素化して欲しい。</p> <p>④再造林後の初期保育（下刈、獣害対策）が重要。これらも10/10補助として欲しい。</p> <p>⑤再造林のための林業用苗木の確保・生産も重要</p> <p>⑥「林業に適した森林」の具体的な場所を示して欲しい。</p> <p>⑦再造林はカーボンニュートラルのためだけでなく、林業を産業化していくためにも必要であることを記載して欲しい。</p>
3 広く親しめる里山づくり	<p>①里山は整備するのではなく守る場所であり、開発したり作業道を開けたりすべきでない。</p> <p>②広く親しめる里山づくりの推進とともに、里山整備の支援継続を。</p>
4 林業人材の確保・育成	<p>①林業従事者の減少が課題。また、再造林を加速化するにあたり林業従事者の確保は重要</p> <p>②里山整備の参加者が次第に高齢化しており、後継者を見つけることが難しい。</p> <p>③新規就農者には支援制度があるが、林業を始めるにあたっての支援制度はない。移住して長野県に来られた方にも、林業に入ってもらうことが重要な取組では。</p> <p>④林業専門家と兼業に分けて養成すべき。</p>

項 目	ご意見・ご質問のポイント
5 まちなかの緑化	<p>①グリーンインフラの取組は重要。保育園・幼稚園の園庭や学校の校庭の芝生化に取り組んで欲しい。</p> <p>②県内の街部には緑が少ない。街路樹整備やその維持管理に森林税を活用して欲しい。</p>
6 市町村と連携した森林等に関する課題解決(森林づくり推進支援金の見直しを含む)	<p>①ライフライン対策は重要。予算を拡充して欲しい。</p> <p>②松くい虫対策を引続き支援して欲しい。</p> <p>③造林事業で補助対象とならないヤブ刈り(緩衝帯整備)を支援して欲しい。</p>
7 その他	<p>①これまでの森林税事業の成果の見える化が必要</p> <p>②木材産業の活性化やそのための環境整備に力を入れて欲しい。</p> <p>③森林税と森林環境譲与税の周知を、両税の違いを含めてもっと行なって欲しい。</p>